

松前の 防災力

自助・共助で取り組む 防災訓練のすすめ

総務課

危機管理係 ☎ 985-4103

日本は地震大国といわれ、阪神淡路大震災、新潟中越沖地震、東日本大震災をはじめとして各地で大きな地震が頻繁に起こっています。そして、愛媛県でも、近い将来大きな地震が発生する危険性があるといわれています。

大きな災害に備え、安全なまちづくりを進めるには、家庭内での備えをはじめとした「自助（自分の身は自分で守る）」に加え、隣近所の助け合いなどの「共助（力を合わせて助け合い、自分たちのまちを守る）」が必要です。

いざという時に互いに協力し合えるようにするには、日頃からのつながりづくりと定期的な防災訓練が欠かせません。

自分の地域の防災訓練の日時を確認して、積極的に参加するようにしましょう。

防災訓練はなぜ必要？

○ 特徴や対処方法を知るため

災害は津波・地震だけでなく、風水害・火災・テロなどたくさん種類があります。それぞれの災害について特徴や対処方法を知っておくことが大切です。

○ 地域で助け合うため

地域における個々の役割を理解して、実践できるように訓練しておくことが大切です。

○ 災害用資機材を使用するため

災害時に使用する資機材の使用方法や、日用品を工夫して代用する方法について知っておくことは、非常時に役に立ちます。

○ 避難をスムーズにするため

集合場所や避難場所を知っておくこと、事前に避難経路を確認しておくことは、スムーズな避難行動をするためには欠かせません。

防災訓練は何をする？

1 救護訓練



AEDを使用した心肺蘇生法の訓練をしたり、竹竿と毛布など身近なものを利用した担架の作り方を学んだりします。

2 初期消火訓練（消火器取扱い）



消火器の使い方を学びます。また、火災発見時の注意点や消火器で消火できる火災（火が天井に届いていないもの）の範囲などを学びます。

3 情報収集伝達訓練、避難訓練、給食・給水訓練など

その他、被害状況を収集伝達する「情報収集伝達訓練」、避難路の確認などを行う「避難訓練」、食料や水の確保・配布の手順を確認する「給食・給水訓練」などがあります。